



砂中だより

第276号

令和8年6月5日

江東区立砂町中学校

校長 小野 享洋

「心を一つに」全員で創り上げた感動の運動会

校長 小野 享洋

新緑の香りが校庭を包み、初夏の訪れを実感する季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

去る5月23日(土)、本校の初夏を彩る一大行事である運動会を開催いたしました。前日の雨もすっかり上がり、当日の朝は少し肌寒さも残りましたが、運動を行うにはこれ以上ない絶好の曇り空となりました。グラウンドには心地よい風が吹き抜け、生徒たちがこれまでの練習の成果を存分に発揮するための最高の舞台が整いました。今年度のスローガンのもと、全学年・全学級が丸となり、それぞれが役割を果たしてこの運動会を大成功へと導いてくれたことを、校長として大変誇りに思っております。

今年度の運動会で、特に強い印象を残してくれたのが3年生の姿でした。彼らにとって今回は、中学校生活最後となる集大成の運動会です。どの競技や演技においても、最上級生としての強い気迫とプライドが随所に感じられ、その熱量は見ている者の胸を熱くさせました。その象徴とも言える場面が、学年種目の「むかで競争」で生まれました。レースが白熱する中、最後にゴールを目指して懸命に足を前に進めるクラスがありました。その時、すでにゴールしていた他のクラスの生徒たちが、クラスの枠を完全に超え、学年全体で一つの大きな輪を作るようにして、その最後のクラスの健闘をたたえ、割れんばかりの拍手と声援を送ったのです。勝敗という結果を超えた、美しく強い絆の輝きを目の当たりにし、私は「みんなの力でこの運動会を本当に素晴らしい成功へと導いたのだ」と深く確信し、胸が熱くなりました。そして、その感動的な背中を間近で見ていた1、2年生の心にも、先輩たちへの強い憧れと、「自分たちも来年はあんな風になりたい」という確かなバトンが引き継がれました。

生徒たちには、この素晴らしい行事を通して得た「仲間と心を一つにする団結力」や「最後まで諦めずにやり遂げた自信」を、決してその日限りのものにせず、これからの学校生活や日々の学習、そして今後の行事へとぜひ役立ててほしいと願っています。一人ひとりが今回の成功体験を糧に、さらに一回り大きく成長していくことを期待しています。

最後になりますが、早朝からの準備や円滑な進行、片付けに至るまで、多大なるお力添えをいただきましたPTA役員および保護者の皆様、また温かいご声援と励ましのお言葉をいただきましたご来賓の皆様、日頃から生徒たちを温かく見守ってくださる地域の皆様に、心より深く感謝申し上げます。今後とも砂町中学校への変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



正しい理解と思いやりで守る、SNS と情報モラル

6月4日、城東警察署のスクールサポーターを講師にお迎えし、「セーフティ教室」を開催しました。目的は、インターネットや SNS の適切な利用方法を学び、情報モラルを向上させることです。

当日は、見知らぬ人とのやり取りによるトラブルや、安易な誹謗中傷、いたずら動画の拡散など、実際に起きた事例に基づく動画を鑑賞した後にご講演いただきました。生徒たちは、SNS に潜む身近な危険性や個人情報流出のリスクを自分事として捉え、相手を思いやったコミュニケーションの大切さと、よりよい人間関係を築くための責任ある行動について深く学びました。

スマートフォンや SNS は非常に便利な道具ですが、使い方を一つ誤れば、他者を傷つけ、自分自身の未来をも壊す「取り返しのつかない事態」を招きます。画面の向こうには必ず「人」がいます。生徒の皆さんには、道具に使われるのではなく、確かなモラルをもって正しく安全に使いこなす力を身に付けてほしいと強く願っています。

ご家庭におかれましても、スマートフォンの利用時間や我が家のルールについて、今一度話し合う機会を設けていただけますようお願いいたします（現在スマートフォンをお持ちでない生徒も、将来の利用を見据えてぜひ当事者意識をもって考えてみてください）。

今後の主な行事

- 6月11日(木) 12日(金) 前期中間考査
- 6月16日(火)～18日(木) 移動教室(2年)
- 6月27日(土) 土曜授業 道徳授業地区公開講座
- 7月1日(水)～3日(金) 5組移動教室

その他詳細は学年だよりや「すぐーる」の配信をご確認ください。

勉強中です



教育目標 「自ら進んで学習し創造性に富んだ人」

「心身を鍛え、勤労と責任を重んずる人」

「みんなと協力して、持続可能な社会をつくる人」